



東村山市子ども読書活動推進計画

(平成17年度～21年度)

進捗状況報告⑭ 『きょういく東村山』より

いい本をたくさんの子どもたちに



いろいろな場所の本の充実を

当計画では、市内のいろいろな場所で子どもが良質の本に出会い、読書の喜びを知り、心豊かに成長することができるように、様々な取り組みを行っています。

市立図書館や学校図書館はもちろん、児童館、保育園や「おひさま広場」などの子育て支援施設にも本が備えてありますが、学習や生活に役立つ本、親子で楽しめる本など、それぞれの施設の役割に応じた本の充実を目指しています。

市立図書館の本選び

特に市立図書館では、子どもの本の拠点として、赤ちゃんから中高生世代までの多様な子どもたちの興味・関心に応えられるように、子どもの本に関する情報収集に努め、「本を選ぶこと」に力を入れています。

長い間読み継がれてきた基本的な本は常備し、いつでも手渡すことができるように、複数購入したり、傷んだら買い替えるようにしています。

一方、新しく出版された本については、1冊ずつ内容を確認して、文章がわかりやすいか、子どもの共感を呼ぶか、装丁や挿絵は魅力的かなど、いろいろな観点から評価して選びます。

子どもたちから本選びのヒントを得ることも多く、おはなし会で読み聞かせをした時の反応や、貸出や予約の状況、中高生が自由に参加する「ティーンズノート」への書き込みなども、参考になります。

本の情報を活かす

このように、本を選ぶことで長年蓄積してきた本の情報は、市内の子ども関連機関の本選びにも

活用しています。

学校図書館や児童館からの依頼に応じて、テーマや年齢に合わせた本の購入リストを作成することもありますし、昨年開設した子育て総合支援センター「ころころの森」の本選びには、どんな絵本を備えたらよいか準備段階から一緒に検討しました。

ほかにも、乳幼児向けの定番の絵本や新刊絵本を入れた「おすすめ絵本パック」を、乳幼児健診の会場や「おひさま広場」「子育てひろば」など約二十か所に設置し、親子が本と出会う機会の拡充を図ったり、中高生向けの本のセット「ミニ図書BOX」を児童館に置いて、若い世代の読書への導入を試みたりしています。

おすすめ本をどうぞ

また、ぜひ読んでほしい本の情報については、ブックリストを発行したり、ホームページに掲載して紹介していますので、ご家庭で本を購入する時や借りる時の参考にしてください。

もちろん、図書館の展示コーナーにはおすすめ本をたくさん用意しています。ぜひ、のぞいてみてください。

『きょういく東村山』第60号より

平成21年6月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会